

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	隔離下でのせん妄ケア
所属科	320病棟
研究責任者	佐藤久仁子
研究期間	倫理委員会承認後から令和3年12月末
研究概要	<p>○目的 ガイドラインを用いて、せん妄の発症予防、または発症後の症状軽減へむけどのような看護介入が必要であったか分析し今後の看護へつなげていく。</p> <p>○対象 後期高齢者 酸素加療、点滴加療している患者</p> <p>○方法</p> <p>1) データ収集方法</p> <p>(1) 患者の言動の変化・不安な様子、看護師の対応の仕方・発言、隔離による患者の不安言動の有無を看護記録で確認する。</p> <p>(2) 日中・夜間での患者の言動の変化について看護記録で確認する。</p> <p>(3) リエゾン看護師によるコンサルテーション内容の記録の確認をする。</p> <p>(4) 病棟の多職種カンファレンスで情報共有する。</p> <p>2) 分析方法</p> <p>(1) ガイドラインに沿って記録を振り返り、記録と看護観察項目から患者の心身の変化について分析する。その中で不安表出はあったのか、自己表現できていたのか、看護師の対応はどうだったのか確認し、継続すべき点、改善点、改善方法が何かを分析する。</p> <p>(2) せん妄スクリーニングツール DST によるせん妄発生の可能性の有無を評価する。せん妄発生した可能性がある場合、ガイドラインに沿った看護実践で対応について継続すべき点、改善点、改善方法が何かを分析する。</p> <p>○利用する項目 事例研究</p>

